

追浜中学校とインドネシアのブラウイジャヤ大学との交流について

<追浜中学校 科学部>

交流のきっかけは、ブラウイジャヤ大学のリアント先生が山口大学で学んでいた時に知り合った山本先生より「追浜中学校で何十年も水質調査を続けている」ということを知り、連絡してくれたことから、2023年7月12日から交流が始まりました。

<1回目の交流会> 2023年8月5日

「共通目標は“水質の改善と保全”」

まずは、追浜中学校科学部とブラウイジャヤ大学の水質工学部の皆さんがお互いの自己紹介をzoomを使って行いました。その後お互いの活動の目的を確認し「水質を改善・保全していく」という共通の目標を立てました。そのためにインドネシアは「日本のようなきれいな川を実現するためにプラスチックごみを減らす」「日本の河川がきれいな理由を学部生と共有する」、追浜中学校科学部は「大学の先端的な調査の技術と鷹取川で行っている調査の結果について専門的に知識を得る」というお互いの目標にむけて確認を行いました。



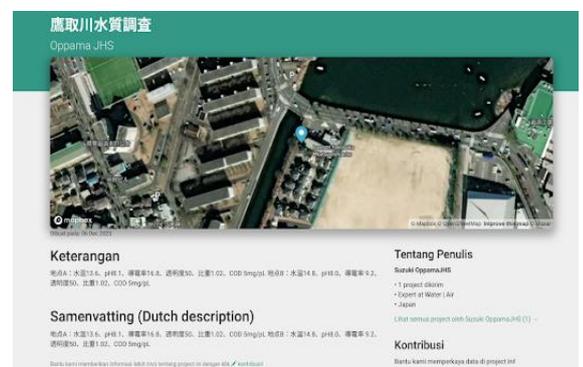
zoomを使った交流会の様子

<2回目の交流会> 2023年10月28日

「インドネシアの川の調査記録を共有」

ブラウイジャヤ大学からインドネシアの川の現状をプレゼンテーションされ、生徒たちは普段触れ合うことのない異文化に興味をもって積極的に質問する姿が見られました。

最後にはブラウイジャヤ大学がつくっている水質調査の結果を記録するサイトを追浜中学校でも入力し、共有していくことを約束しました。



水質調査の結果を入力したサイト

<3回目の交流会> 2024年2月24日

「追浜中学科学部の活動を英語でプレゼン」

鷹取川の現状と水質調査の数値結果を追浜中学校科学部の2年生が英語で発表し、大学側にプレゼンテーションしました。それをもとにインドネシアとの河川の状況を比較し、生徒は「鷹取川を見て、あまりきれいではない」という感想をもっていたが、交流して「日本の川はきれいなんだ」と実感していました。その中でも水質をきれいに保っていくために、プラスチックごみを減らしていくことの重要性を話しあい、お互いに河川のクリーン活動を行っていくことを話し合いました。



交流後ブラウイジャヤ大学の
インスタグラムに投稿された内容

<まとめと今後の展望>

「これからは水質調査とクリーン活動も！」

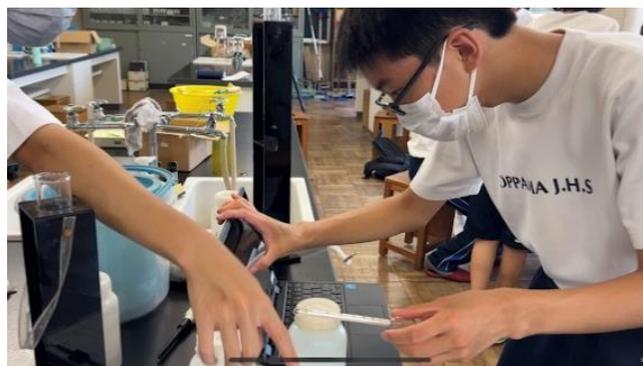
インドネシアとの交流をしたことで「日本の河川のきれいさ」「日本のごみを決められたところに捨てる教育」など日本の良さに気づくことができました。だからこそきれいな川を保っていくためにも「生息生物を調べて水質を調べたい」や「来年も水質調査と一緒にゴミ拾いを行っていききたい」など前向きな意見がでました。それをもとに、水質調査を続けるとともに調査のときにごみを拾う「クリーン活動」も同時に行い、今年度の最後の水質調査では、ゴミ拾いもするようになりました。最終的な目標は大学の学部生が追浜に来て、鷹取川を調査しながら実際に会って交流できるように活動を続けていきたいと思っています。



クリーン活動の様子



採取した水の水温・pH 測定



理科室での比重測定